

第1号議案 2021年度事業報告・決算関係書類承認の件

2021年度事業報告書及び決算関係書類

全期

自 2021年3月 1日

至 2022年2月28日

- I 事業報告書
- II 事業報告書の付属明細書
- III 決算関係書類（剰余金処分案を除く）
 - (1) 貸借対照表
 - (2) 損益計算書
 - (3) 注記
- IV 剰余金処分案
- V 決算関係書類の付属明細書

北見工業大学生生活協同組合

2021年度事業報告書

2021年3月1日から2022年2月28日まで

作成 2022年3月23日
備付 2022年4月22日

北見市公園町165
北見工業大学生協同組合
理事長 白川 龍生

I. 組合の事業活動の概況に関する事項

1 事業年度の末日における重要な事業活動の内容

事業種目		主な事業品目等
供給及び 利用事業	物品供給	書籍、文具、教育機器、衣料品、電気製品、家具、その他組合員の日常生活に必要な物資を供給する事業。
	サービス提供	国内・海外旅行等の旅行業務を取り扱う事業。アパート・下宿の斡旋および管理する事業。その他日常生活に必要なサービスを提供する事業。
	サービス提供 (フード)	組合員に食事を提供する事業。
その他		組合員のための生命共済、火災共済の業務受託事業。

2 事業の経過及びその成果並びに対処すべき重要な課題

新型コロナウイルス感染症の終息の兆しは見えず、引き続き組合員の生活に大きな影響を及ぼしました。一方で対面授業も徐々に再開され、今までのような活気が学内には戻ってきました。しかしながら、生協利用は回復することはできず、20年度比では利用客数は53%伸長しましたが、19年度比では54%程度にとどまっています。生協の安定した運営には食堂利用や購買1階の利用回復がより一層求められます。

また、供給高は食堂や購買1階部分については、20年比は大きく上回っているものの、19年比で約60%程度の利用に留まっています。客数の減少がそのまま供給高の減少につながっています。

このような中ではありましたが、学生支援活動の一環として、ほっかいどう若者応援プロジェクトの活動として食の支援を行いました。また、学祭実行委員会と共催で「フードバンク in 北見工大」の取り組みなど他団体と一緒に学生食を支える活動を継続的に行ってきました。尚、学祭実行委員会の皆さんはその活動が認められて、2021年度の北見工業大学ミント賞を受賞しております。

毎年行っている、オホーツク食材の親孝行宅配便の取り組みや地産地消イベントを本年度も北見工業大学研究協力課と共同で行いました。本年度は、水産物は雄武漁協取扱品を中心に、農畜産物は乳製品の親孝行宅配便の取り組みを行いました。

初冬から2月にかけては、一人暮らしの方の水道管凍結予防対策として、不凍液の配布を行いました。今年度はこれまで凍結事故が発生した物件を中心に、大家さんの協力の元、建物内へのポスター掲示や凍結防止のチラシを各ポストに届けました。不凍液の配布は長期間不在にしがちな年末年始に集中して配布しました。残念ながら、1月に水道管凍結事故が発生してしまいましたが、引き続き、水道管凍結事故防止を呼び掛けていきます。

利用者数の減少に対応するために引き続き営業時間の見直しや職員の賞与見直し等人件費や経費の削減に努め単年度では黒字を計上することができました。組合員への還元企画として年2回のIC3%プレミアムキャンペーン、食堂利用や購買食品購入での1%ポイント付与、書籍店5%ポイント還元は継続しております。11月～12月にかけてはロングランの年末謝恩企画を開催しました。書籍店では10%還元(5%ポイント+5%現金還元)、食堂や購買店ではクリスマス企画、また、全店参加のスタンプラリーの開催など多くの組合員に利用しやすい企画を行いました。

以上、北見工大生協が2021年度行った事業成果としてご報告させていただきます。以下、部門別のまとめを記載します。

◎各部門別まとめ

2021年度 部門別供給高 (四捨五入の関係で合計が一致しないことがあります)

	前年実績	予算	実績	前年差異	予算差異
購買	177,211千円	166,048千円	189,719千円	12,509千円	23,671千円
食堂	39,388千円	60,485千円	64,092千円	24,705千円	3,608千円
書籍	35,391千円	40,360千円	52,292千円	16,901千円	11,931千円
サービス	45,475千円	47,850千円	80,789千円	35,315千円	32,940千円
合計	297,464千円	314,743千円	386,894千円	89,429千円	72,151千円

2021年度 部門別当期剰余金 (四捨五入の関係で合計が一致しないことがあります)

	前年実績	予算	実績	前年差異	予算差異
購買	9,134千円	16,907千円	13,966千円	4,832千円	-2,941千円
食堂	-6,926千円	4,157千円	4,719千円	11,645千円	562千円
書籍	-4,452千円	-1,659千円	3,781千円	8,234千円	5,441千円
サービス	15,127千円	7,604千円	12,514千円	-2,612千円	4,911千円
本部	-18,315千円	-30,657千円	-32,354千円	-14,040千円	-1,697千円
合計	-5,431千円	-3,648千円	2,627千円	8,059千円	6,276千円

2021年度 利用客数 累計

	19年度	20年度	21年度	19年度差異	20年度差異		
購買	233,769人	90,255人	129,426人	-104,343人	55.4%	39,171人	143.4%
食堂	241,053人	76,352人	126,695人	-114,358人	52.6%	50,343人	165.9%
書籍	8,610人	4,909人	6,569人	-2,041人	76.3%	1,660人	133.8%
サービス	1,494人	367人	612人	-882人	41.0%	245人	166.8%
合計	484,926人	171,883人	263,302人	-221,624人	54.3%	91,419人	153.2%

✓食堂部

昨年に引き続き、感染防止対策として、ホール机の間引きや仕切り板の設置をしました。混雑緩和対策も兼ねて、テイクアウト利用も呼びかけましたが、年間を通じて2割程度の利用になっております。

食堂の企画としては、毎月のフェアに加え、前述の地産地消イベントの実施、クリスマス企画など又来たくなる食堂を目指して運営してきました。利用客数は66%伸長していますが、19年比では53%にとどまっています。ミールプラン利用者以外の利用増が食堂利用増につながる為、ミールプラン非利用者の利用増が次年度の課題です。

✓購買部

PCをはじめとした研究者売掛は引き続き好調なご利用となりました。今年度は大学の予算執行が従来よりも前倒しで行われていたため、1月2月にご利用が集中しました。その為、両月とも予算を大幅に上回るご利用となりました。

購買店1階は食品を中心に大幅に伸長しております。特にミールプランで利用可能なパン弁当おにぎりが好調です(80%伸長)。ホット弁当と合わせパン弁当等をミールプラン利用可能としたことで食堂の混雑緩和には寄与しています。

また、食品を中心に組合員の声などで要望された声には可能な限りお応えし、声を反映させる店舗づくりも進めてきました。組合員の声をもとに入荷した商品についてはそのことがわかるように「組合員の声で入荷しました」POPなども貼り、声に応える店舗を作りました。

✓書籍部

教科書販売は昨年に続き、WEBを中心とした販売を継続し、店頭での混雑緩和を目指しました。前年並みのご利用でしたが、購入率は昨年同様に非常に高く推移しております。専門書も含めた店頭のご利用の減少傾向は変わりません。特に、雑誌や文庫はほぼご利用がありません。供給は品ぞろえに直結する分野ではありますが、品ぞろえの充実はとても難しいですので、専門書や就職関連書籍に重点を置いた販売に変更していきます。

今年度から生協主催の公務員講座を開講しております。30名の第1期生が22年夏の試験を目指し、21年春から受講しています。

✓サービス

2021年度新入生の98%（403人）の方に生協加入、86%（353人）の方に学生総合共済に加入していただきました。また、病気入院や事故通院・入院などで生命共済加入者の延べ81名に約652万円、水道管凍結などによる借家人賠償等火災共済に加入の方の延べ1名に約457万円の給付金をお渡しすることができました。新型コロナウイルス感染者については、在宅やホテル等での療養、入院療養を問わず給付金をお渡ししています。

旅行部門は、コロナ禍ではありますが、夏休みや年末年始の帰省のご利用など昨年よりは増えておりますが、19年度の50%程度の利用です。一方で自動車学校の入校は過去最高の利用となりました。20年は自動車学校自体の休校や外出自粛等もあり、入校を控えていた学生が多く1、2年生を中心とした利用でした。

◎2021年度剰余金

税引き後の未処分剰余金は2,627千円です。当期首繰越損失金396千円を加えて2,231千円が当期末処分剰余金となります。1,500千円を施設整備積立金とし、731千円を次期繰越剰余金とします。

事業の推移

（1）直前3事業年度の財産及び損益の状況 （単位：千円）

項 目	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
組合員数（人）	2,310	2,269	2,130	2,185
出資金額	41,542	41,346	38,498	39,850
供給高	415,314	433,104	297,464	386,894
その他利用事業収入	24,979	27,148	22,721	22,580
経常剰余金	1,212	753	-11,584	2,833
総資産	181,190	171,397	168,924	182,063
純資産	76,523	74,758	68,601	70,279

（2）供給事業

1）供給高の事業所別内訳 （単位：千円）

項 目	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
購買店	193,655	205,029	177,210	189,719
書籍店	39,760	40,039	35,391	52,292
食堂店	100,603	110,775	39,388	64,092
サービス店	81,296	77,261	45,475	80,789
合 計	415,314	433,104	297,464	386,894

(3) 受託共済事業状況表

1) 加入者数の状況 (注) 2022年2月28日現在

共済事業の種類		加入者数		
	元受団体名	本年度	前年度	前年比
学生総合共済 (生命共済)	大学生協共済連	1,539	1,479	104.0%
学生総合共済 (火災共済)	大学生協共済連	298	638	46.7%
合	計	1,837	2,117	86.8%

2) 元受団体共済掛金及び共済金支払の状況 (注) 2022年2月28日現在 (単位:千円)

共済事業の種類		元受団体共済掛金			共済金支払件数			共済金支払額		
	元受団体名	本年度	前年度	前年比	本年度	前年度	前年比	本年度	前年度	前年比
学生総合共済 (生命共済)	大学生協共済連	21,853	20,738	105.3%	81	61	132.9%	6,562	9,596	68.4%
学生総合共済 (火災共済)	大学生協共済連	596	1,276	46.2%	11	14	78.5%	4,577	16,537	27.7%
合	計	22,449	22,016	101.9%	92	75	122.7%	11,139	26,133	42.6%

3 増資および資金の借入その他の資金調達状況

該当する項目はありません。

4 組合が所有する施設の建設または改修その他の設備投資状況

該当する項目はありません。

5 他の法人との業務上の提携

該当する項目はありません。

6 他の会社を子法人等および関連法人等とすることとなる場合における当該他の会社の株式または持分の取得

該当する項目はありません。

7 事業の全部又は一部の譲渡又は譲受を受け、合併(存続組合)その他の組織の再編成

該当する項目はありません。

8 教育事業等の状況

単位：千円

項 目		金 額
当期に繰り越された教育事業等繰越金		0
教育事業等の使途		
科 目	内 容	金 額
教育文化費	学生委員会合宿	0
	新入生歓迎	0
	ライフスケッチ印刷	260
	組合員向け企画	83
合 計		343

9 員外利用の状況

該当する項目はありません。

Ⅲ 2021年度決算関係書類

作成 2022年3月23日
備付 2022年4月22日

北見市公園町165
北見工業大学生生活協同組合
理事長 白川 龍生

(1) 貸借対照表

貸 借 対 照 表

(2022年2月28日現在)

単位:円

科 目	金 額	科 目	金 額
(資産の部)		(負債の部)	
流動資産	169,321,945	流動負債	101,057,382
現金預金	53,042,615	買掛金	25,522,684
供給債権	13,534,109	未払金	3,854,915
商品及び原材料	21,315,236	未払法人税等	206,000
前渡金	70,000,000	未払消費税等	3,608,372
立替金	0	未払費用	3,525,976
未収消費税等	0	前受金	43,832,870
未収金	11,589,985	預り金	17,194,565
貸倒引当金	▲ 160,000	賞与引当金	1,030,000
		仮受出資金	2,282,000
固定資産	12,741,954	固定負債	10,726,957
有形固定資産	1,363,954	退職給付引当金	10,576,957
建物及び附属設備	2,126,000	役員退職給与引当金	150,000
建物及び附属設備減価却累計額	▲ 2,125,997		
器具備品	43,184,785		
器具備品減価却累計額	▲ 41,820,834	負債合計	111,784,339
	1,363,951		
無形固定資産	0	(純資産の部)	
ソフトウェア	0	組合員資本	70,279,560
その他無形固定資産	0	出資金	37,548,000
		剰余金	32,731,560
その他の固定資産	11,378,000	法定準備金	21,500,000
関係団体出資金	10,728,000	施設整備積立金	9,000,000
子会社等株式	0	当期末処分剰余金	2,231,560
長期前払費用	0	(うち当期剰余金)	2,627,974
差入保証金	650,000		
その他の固定資産	0	純資産合計	70,279,560
資産合計	182,063,899	負債・純資産合計	182,063,899

(2) 損益計算書

損 益 計 算 書

自2021年3月1日 至2022年2月28日

単位:円

科 目	金	額
供 給 事 業		
供 給 高	386,894,431	
供 給 値 引	<u>1,968,849</u>	384,925,582
供 給 原 価		
期首商品棚卸高	17,903,973	
仕 入 高	<u>311,829,590</u>	
合 計	<u>329,733,563</u>	
期末商品棚卸高	<u>21,315,236</u>	308,418,327
供 給 剰 余 金		<u>76,507,255</u>
その他の事業収入		
共済受託手数料収入	4,251,520	
供給事業手数料収入	700,402	
その他手数料収入	<u>17,628,469</u>	
その他事業収入計		<u>22,580,391</u>
事業総剰余金		<u>99,087,646</u>
事業経費		
人 件 費	55,597,754	
物 件 費	<u>41,025,723</u>	96,623,477
事業剰余金		<u>2,464,169</u>
事業外収益		
受 取 利 息	1	
受 取 配 当 金	17,800	
雑 収 入	<u>3,844,483</u>	3,862,284
事業外費用		
支 払 利 息	0	
雑 損 失	<u>3,492,479</u>	3,492,479
経常剰余金		<u>2,833,974</u>
特別利益		
補 助 金 収 入	0	
その他特別利益	<u>0</u>	0
特別損失		
その他特別損失	<u>0</u>	0
税引前当期剰余金		2,833,974
法 人 税 等		206,000
過年度法人税等		<u>0</u>
当期剰余金		<u>2,627,974</u>
当期首繰越損失金		396,414
積立金取崩額		<u>0</u>
当期末処分剰余金		<u>2,231,560</u>

IV 2021年度剰余金処分案

作成 2022年3月23日
備付 2022年4月22日

北見市公園町165
北見工業大学生生活協同組合
理事長 白川 龍生

単位:円

項 目	金 額
I 当期末処分剰余金	2,231,560
II 当期剰余金処分額	
1. 法定準備金	0
2. 任意積立金	
(1) 施設整備積立金	1,500,000
	1,500,000
III 次期繰越剰余金	731,560

施設整備積立金は、計画している施設整備のために、自己投資・大学への寄付等として活用することを目的とし、16年度から開始しました。目標額は1億円です。

教育事業等繰越金

上記の次期繰越剰余金には、以下の通り、
消費生活協同組合法第51条の4第4項に規定する教育事業等繰越金が含まれています。

項 目	金 額
I 当期首繰越金	0
II 今期処分額	0
III 今期繰入額	200,000
IV 次期繰越金	200,000

その他資料：大学生協学業継続奨学制度(たすけあい奨学制度)のご報告

2021年度は、全国141大学308名の扶養者を亡くされた学生へ3,044万円を給付できました

扶養者を亡くされた学生の学業継続をみんなで応援する大学生協学業継続奨学制度は、皆様のご協力によって、2021年度は、全国141大学308名の扶養者を亡くされた学生へ3,044万円の援助金を贈ることができました。

北見工業大学では今年度の援助金受給者はおりませんでした。1992年度の制度開始以降、14名の学生が給付を受けています。

新型コロナ禍特別対応で学業継続を応援

昨年度から引き続き、新型コロナ禍によって扶養者を亡くされた学生にとって、より厳しい状況となっております。

たすけあい奨学制度では、審査基準を緩和して、より多くの学生に奨学金が給付できるよう「新型コロナ禍特別対応」による審査基準の緩和を実施し、学業継続を応援してきました。

寄付・賛助会費は前年を大きく上回る協力が得られました。

“新型コロナ禍で経済的な厳しさが増すなかでも、多くの学生の皆様から寄付にご協力いただきました。

その大半は、卒業される学生の皆様が後輩のために温かい寄付を送ってくださったものです。”

■2021年度(2020年10月～2021年9月)のご報告

	組合員の皆様 の寄付	賛助会費	寄付合計	給付 件数	給付額
北見工業大学	10,000円	50,000円	65,690円	0人	0万円
全国合計	3,390万円	2,218万円	5,608万円	308人	3,044万円

なお、大学生協学業継続奨学制度は、2020年1月から、これまでの勉学援助制度を引き継いで実施しています。

大学生協学業継続奨学制度(たすけあい奨学制度)とは

扶養者を亡くし、経済的に学業を続けることが困難になっている学生に対して緊急援助として返済不要の10万円を給付することで、学業継続を応援する制度です。ただし、財政的な制約もあることから、審査に基づいて、学業継続環境が厳しい方を優先して給付を行います。

また、この制度は、扶養者を亡くされて困っている学生の「学業を続けたい」「大学で学んで夢をかなえたい」という想いを応援しようとする全国の学生・教職員の皆様や大学生協からの寄付を主な財源としている「たすけあい」制度です。

第2号議案 2022年度事業計画・予算決定の件

2022年度の課題

組合員の学び・暮らしを支える生協を目指します

引き続きコロナ禍の中で新年度がスタートします。組合員がそれぞれの立場で運営に参加できる生協を目指します。北見工大生協はみんなで出資して、みんなで運営・利用する組織です。こんな状況だからこそ様々な階層が集まる生協の強みを発揮します。

一方で生協の経営面では20年度に計上した赤字解消が大きな課題となります。22年度は人件費や物件費の削減と合わせて、更なる利用増を図り、21年度に引き続き単年度黒字を目指します。

・組合員の声カードやメニュー開発、組合員選書の棚の設置など組合員の声に応え、声が反映される店舗づくりをすすめていきます。

・入学から卒業までそれぞれの学年や行事等に合わせ学生の学びを支援する仕組みや読書推進、キャリアアップ支援など学生自身の成長をサポートする生協を目指します。

・学生委員会の取り組みや他団体との共同の取り組みなど、オンラインや対面での繋がりを作りながら学生同士のコミュニティ形成に寄与します。

✓食堂部

・引き続きテイクアウトとイートインを併用した営業としますが、ミールプランを中心に組合員の食を支えます

・組合員によるメニュー開発、産直企画、健康管理（免疫力向上）や栄養提案といったキーワードで運営します

✓購買部

・組合員の声による商品選定や従業員によるおすすめ商品のご案内など商品を通してキャッチボールのできる店舗運営を行います

・PCコーナーを中心として、校費利用など必要なことがすぐに相談できる店舗を目指します。体制強化により、専門知識の向上や提案レベルの向上を目指します。

・カタログショッピングや名産品販売など店頭在庫のないサービスや商品提案に力を入れます。

✓書籍

・開講前の教科書販売体制を継続します

・計画的な企画実施による利用回復、学生による選書、教職員による選書企画を行います

・学生のキャリアアップを支援する店舗を目指します。特に公務員講座2期生の募集と1期生の合格に向けたサポートを行います。

✓サービスカウンター

・組合員加入活動を促進します